

2026年7月27日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

国際学会IIAI AAI 2026においてCompetitive Paper Awardを受賞

～異常賃金成長による人的資本の動的評価～

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼代表取締役社長:大越昇一、以下「当社」）は、国際学会IIAI AAI^{※1}において発表した研究論文“Abnormal Wage Growth as a Dynamic Signal of Human Capital in Japan”（『日本における人的資本の動的指標としての異常賃金成長』）^{※2}が、優れた論文に授与される、Competitive Paper Awardを受賞しました。

日本では人的資本に関わる情報開示の制度設計が進んでおり、2026年3月期以降の有価証券報告書では、企業戦略と関連付けた人材戦略の基本方針および従業員の給与・報酬に関する開示の充実が求められています。特に後者については、提出会社の従業員の平均給与の対前年比増減率（賃金成長率）も開示項目となり、企業の人的資本への評価姿勢が時系列で可視化されることになりました。

こうした文脈において、本研究は日本企業を対象として、異常賃金成長（企業の人員構成の変化による影響を除いた、純粋な賃金成長率）が企業の売上や利益・利益成長率に与える影響について分析しました。分析の結果、異常賃金成長は、こうした指標との正の有意な関連性があることを示しています。これは、「人的資本への投資は財務会計上ほとんどが費用として計上されるため、短期的には企業利益や資本効率性の低下をもたらす」という従来の見方の再考を促すものであり、人的資本経営の重要性を改めて強調するものとなります。

当社は、責任ある機関投資家として、資産運用ビジネスを通じてお客様の資産形成に貢献することに加え、スチュワードシップ活動を通じて「投資の好循環（インベストメント・チェーン）」を生み出し、投資先企業の社会的価値の創造を後押しすることも重視しています。本研究成果は、当社のスチュワードシップ業務の高度化に向けて活用される予定です。

日本政府が「資産運用立国実現プラン」を掲げ、資産運用ビジネスの高度化が求められる中、当社は今後も、日本にルーツを持つグローバル資産運用会社として、ESG課題の解決に取り組んでいきます。

^{※1} IIAI(International Institute of Applied Informatics)は、世界の大学関係者や企業研究者等が参加する9つの国際学会を併設した組織です。AAIは、Advanced Applied Informaticsの頭文字をとったもので、高度応用情報学を意味します。

^{※2} 執筆者:山脇大(当社 英国拠点)、高野海斗(当社 資産運用先端技術研究部)、中川慧氏(大阪公立大学)。

以上